



**全国で感染者数が増加しています
今こそストップ梅毒！**

令和6年8月14日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第32週分・8月5日～8月11日)

《インフォメーション》

●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ(細菌)を原因とする感染症です。主に、感染者との性的接触によって感染します。梅毒トレポネーマが粘膜や皮膚に感染すると、約3～6週間の潜伏期間を経て、感染部位にしこりや潰瘍が現れます(I期顕症梅毒)。数週間～数か月経過すると、手のひらや足の裏、全身に発疹が現れます(II期顕症梅毒)。無治療の場合、症状が消えても感染力は残っています。数年～数十年後に、皮膚や骨のゴム腫や、脳や心臓に重篤な病変が現れることがあります(晩期顕症梅毒)。また、妊娠中に感染すると危険性が高まり、胎盤を通じた胎児への感染、流産や死産、新生児障害(先天梅毒)のおそれがあります。

全国の梅毒患者報告数は2010年頃から増加し、2023年の報告数は15,078例と過去最多となりました(図:折れ線グラフ)。なかでも先天梅毒は2023年に37例が報告されました。2024年は第31週時点で既に8,310例の梅毒患者報告がありました。男性は20～50歳代、女性は20歳代が多くなっています。

一方、富山県の報告数は2021年に48例と過去最多となりました(図:棒グラフ)。2024年は第32週時点で21例(男性:20～50歳代12例、60～80歳代5例、女性:20歳代2例、50歳代2例)が報告されており、早期顕症梅毒(I、II期)の割合が8割(17/21)と高くなっています。

梅毒の初期症状である性器の潰瘍など、異変に気づいた場合には早めに医療機関を受診しましょう。パートナーも感染の可能性があるため、受診をお勧めします。感染予防としては、不特定多数との性行為を避けること、適切にコンドームを使用することです。梅毒はペニシリン系抗菌薬による治療が可能であり、4～8週間の抗菌薬投与後に抗体検査によって治療効果を確認します。治療後も、感染機会があれば何度も感染しますので、予防が大切です。

《全数報告の感染症》

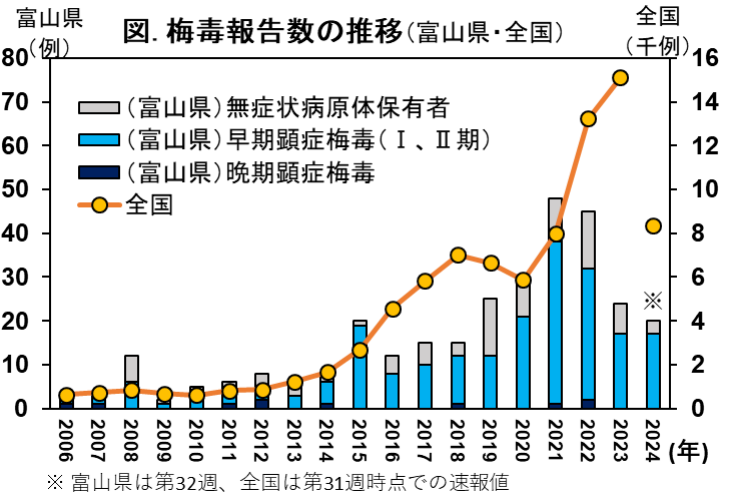
- 二類感染症 結核 3件 (①第31週診断分:90歳代、男性 ②70歳代、男性 ③90歳代、女性)
- 四類感染症 ボツリヌス症 3件 (①50歳代、女性 ②70歳代、女性 ③80歳代、男性)
- 五類感染症 梅毒 1件 (30歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	10.21(↓)	11.94
2位	手足口病	8.66(↓)	8.90
3位	感染性胃腸炎	3.38(↑)	2.83
4位	RSウイルス感染症	2.97(↓)	3.17
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41(↓)	2.34
6位	ヘルパンギーナ	1.07(↑)	0.76

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第32週 令和6年8月5日～令和6年8月11日）

分類	疾患	今週報告分（第32週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2			2	8	4	25	6	32	75
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			2			2	5	3	14	4	19	45
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	3	3	4	11
四類感染症	E型肝炎											1	1
	ポツリヌス症					3	3					4	4
	レジオネラ症							2	1	8	1	16	28
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							1		3		8	12
	急性脳炎									1		1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3	1	9	14
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7
	水痘（入院例）							1	1				2
	梅毒					1	1	1		5	5	10	21
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳											1	1
	インフルエンザノ COVID-19定点 (47定点)	インフルエンザ	1		1	1	4	7	1,078	1,029	4,042	1,565	5,073
COVID-19		0.17		0.08	0.14	0.25	0.15						
小児科定点 (29定点)		70	52	148	97	113	480	1,878	1,019	3,143	1,785	2,669	10,494
		11.67	10.40	11.38	13.86	7.06	10.21						
	RSウイルス感染症	4	2	38	5	37	86	50	62	546	40	409	1,107
		1.00	0.67	4.75	1.25	3.70	2.97						
	咽頭結膜熱	4	1	9	1	14	29	104	256	670	37	694	1,761
		1.00	0.33	1.13	0.25	1.40	1.00						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	32	1	7	41	176	167	2,619	309	1,236	4,507
			0.33	4.00	0.25	0.70	1.41						
	感染性胃腸炎	17	3	15	7	56	98	737	631	1,395	667	3,284	6,714
		4.25	1.00	1.88	1.75	5.60	3.38						
	水痘			3		6	9	2	13	113	9	67	204
				0.38		0.60	0.31						
	手足口病	7	15	144	16	69	251	84	281	1,421	350	1,459	3,595
		1.75	5.00	18.00	4.00	6.90	8.66						
伝染性紅斑							1		8	1	9	19	
突発性発しん			4	2	3	9	8	12	95	27	88	230	
			0.50	0.50	0.30	0.31							
ヘルパンギーナ	4	2	4	9	12	31	70	19	74	42	174	379	
	1.00	0.67	0.50	2.25	1.20	1.07							
流行性耳下腺炎							3	1	5	2	7	18	
眼科定点 (7定点)	急性出血性結膜炎										2		2
	流行性角結膜炎							8	1	30	5	9	53
基幹定点 (5定点)	無菌性髄膜炎										3		3
	マイコプラズマ肺炎			2		2	4		2	11	1	4	18
				2.00		2.00	0.80						
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1				1
入院サーベイランス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179
	COVID-19による入院患者	11	4	17	10	34	76	160	130	126	189	476	1,081

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

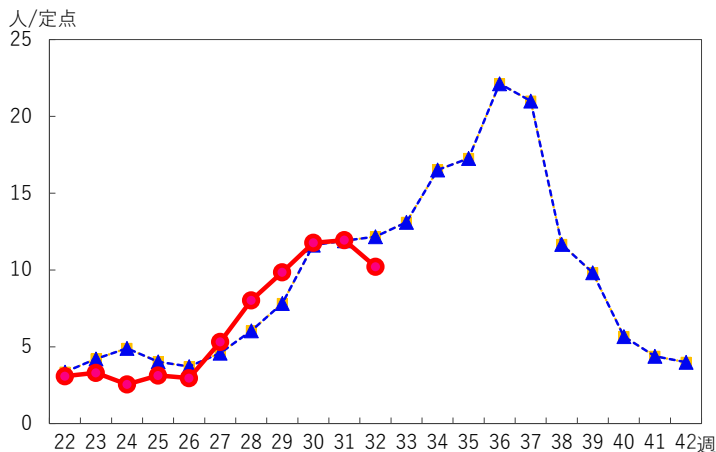
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第32週（8月5日（月）～8月11日（日））

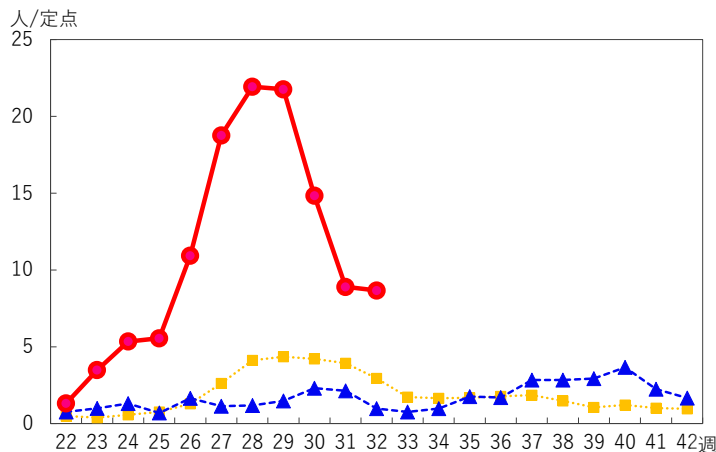
8月14日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

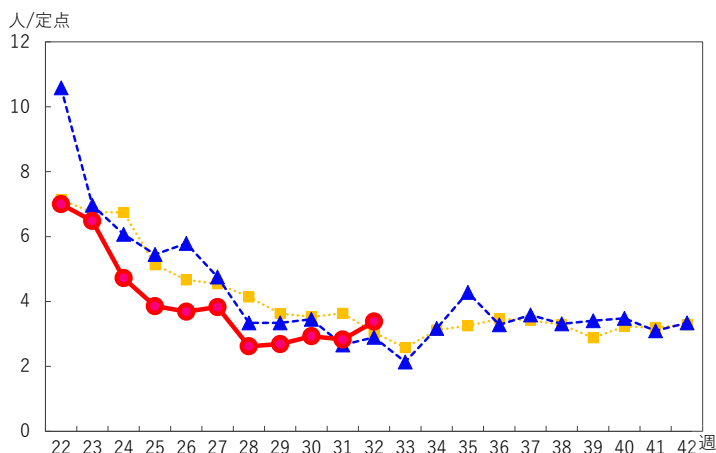
COVID-19



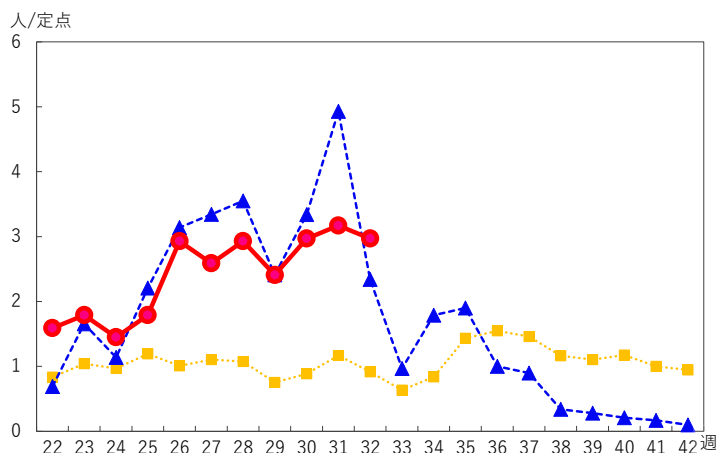
手足口病



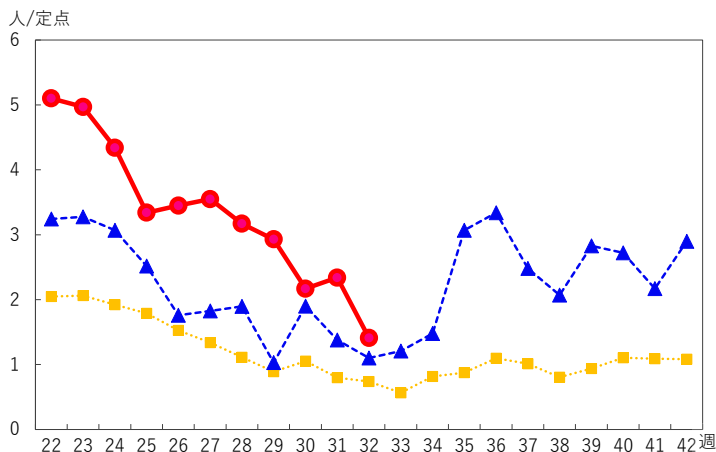
感染性胃腸炎



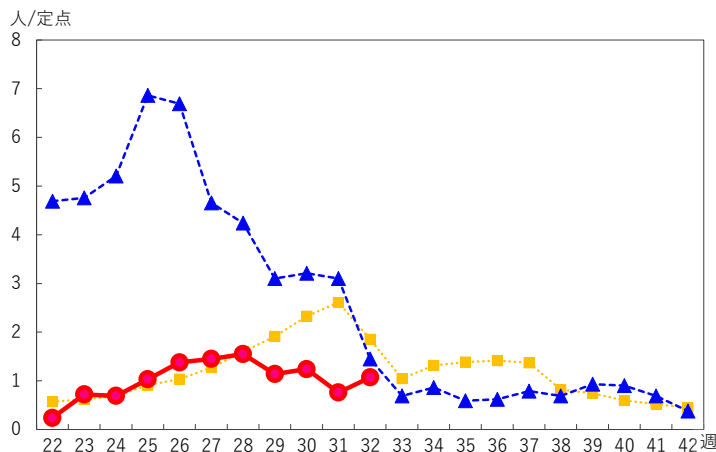
R S ウイルス感染症



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



ヘルパンギーナ



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年7月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		7月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症					8	8	1	2	5		61	69
						2.00	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1		4	6		7	3		39	49
			1.00	0.33		1.00	0.60						
尖圭コンジローマ					1	2	3				3	13	16
					1.00	0.50	0.30						
淋菌感染症						2	2			3		11	14
						0.50	0.20						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4	3	2	1	10	20	14	6	14	7	61	102
		4.00	3.00	2.00	1.00	10.00	4.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			3			3	5	1	5		5	16
				3.00			0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。